

# 株主通信

第116期 中間報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

## 株式のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金 受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
公告方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL ( <a href="http://www.presskogyo.co.jp">http://www.presskogyo.co.jp</a> )  ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL：0120-232-711 (通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所第一部
証券コード	7246
単元株式数	100株

### 【株式に関するお手続きについて】

#### ● 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>単元未満株式の買取（買増）請求</li> <li>住所・氏名等の変更</li> <li>特別口座の残高照会</li> <li>配当金の受領方法の指定※</li> </ul>	特別口座の 口座管理 機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL：0120-232-711 (通話料無料) 【手続書類のご請求方法】 ・音声自動応答電話によるご請求 TEL：0120-244-479 (通話料無料) ・インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufj.jp/daikou/">http://www.tr.mufj.jp/daikou/</a>
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿 管理人	

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式をお選びいただけません。

#### ● 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL：0120-232-711 (通話料無料)
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

## PRESS プレス工業株式会社

〒210-8512 川崎市川崎区塩浜一丁目1番1号  
TEL:044-266-2581 (代表) FAX:044-276-3934  
<http://www.presskogyo.co.jp>

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

#### ■ 株式関連業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署に提出いたします。

#### ■ マイナンバーのお届出に関するお問合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様  
➔ お取引の証券会社
- 証券会社とのお取引がない株主様  
➔ 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL：0120-232-711 (通話料無料)

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **7246**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

[kabu@wjim.jp](mailto:kabu@wjim.jp)へ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

● アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

● アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



To be the world's No.1 manufacturer of our core products



プレス工業株式会社

証券コード：7246



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社116期第2四半期(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)の業績につきまして、ご報告させていただきます。

代表取締役社長

角堂 博茂

## 当第2四半期の業績の概要

当第2四半期連結累計期間における当社グループの国内事業環境は、以下のとおりであります。

自動車関連事業につきましては、普通トラックの国内需要は、排ガス規制前の駆け込みにより増加したものの、9月の反動減もあり、前年同期比0.3千台減の45.5千台となりました。輸出は当第1四半期に引き続き低調に推移しました。

小型トラックの国内需要は、買替需要が継続しておりますが、前年同期比0.2千台増の48.9千台に留まり、また、輸出も低調に推移しました。

建設機械関連事業につきましては、油圧ショベルの国内需要は排ガス規制前の駆け込みにより増加し、また、輸出も前年同期に比べ増加しました。

海外の事業環境は、次のとおりであります。

タイ：1トンピックアップトラックのタイ国内需要は堅調に推移しましたが、タイ国内生産台数は輸出の伸び悩みにより減少しました。

米国：自動車の需要は減少しているものの、ピックアップトラック・SUVは好調を維持しました。

中国：建設機械需要は公共投資関連が好調に推移し、前年同期に比べ増加しました。

インドネシア：自動車需要は回復基調にあります。

スウェーデン：欧州の自動車需要は堅調に推移し、前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,034億65百万円(前年同期比16.1%増)となり、営業利益は59億48百万円(前年同期比38.1%増)、経常利益は59億61百万円(前年同期比78.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億79百万円(前年同期比76.7%増)となりました。

## セグメント別の業績

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

### ●自動車関連事業

当社の普通トラック用部品の生産・販売は、国内向けは堅調に推移し、輸出向けはノックダウン部品が増加したため、前年同期に比べ増加しました。小型トラック用部品の生産・販売は、国内向けは前年同期と同水準となり、また、輸出も産油国向けの不振が続いたことにより減少しました。

海外子会社の状況は、次のとおりであります。

タイ：1トンピックアップトラックのTSPKKグループの生産・販売は、現行受注部品の仕向け地拡大による増産等により、前年同期に比べ増加しました。

米国：PK U.S.A.,INC.の生産・販売は、ピックアップトラック・SUVが堅調に推移したため、前年同期に比べ増加しました。

インドネシア：PT.PK Manufacturing Indonesiaの中・小型トラック用フレームの生産・販売は、新規受注部品の立上げ等により、前年同期に比べ増加しました。

スウェーデン：PRESS KOGYO SWEDEN ABの生産・販売は前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は873億99百万円(前年同期比12.8%増)となり、セグメント利益は66億3百万円(前年同期比13.1%増)となりました。

### ●建設機械関連事業

当社の生産・販売は国内・輸出共に好調に推移し、前年同期に比べ増加しました。当社子会社協和製作所の生産・販売は、資源価格の上昇による鉱山機械需要の継続等により、前年同期に比べ増加しました。

海外子会社の状況は、次のとおりであります。

中国：当社子会社蘇州普美駕駛室有限公司(PM CABIN MANUFACTURING CO.,LTD.)と普萊斯工業小型駕駛室(蘇州)有限公司(PRESS KOGYO MINI CABIN(SUZHOU)CO.,LTD.)の生産・販売は好調に推移し、前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は169億21百万円(前年同期比43.5%増)、セグメント利益は12億30百万円(前年同期比339.3%増)となりました。

## 剰余金の配当(中間配当)について

第2四半期の業績実績が前回発表予想を上回ったことを踏まえ、当期の中間配当金につきましては、1株当たり6円に決定いたしました。なお、期末配当につきましては、前回の配当予想から修正はございません。年間の配当予想は1株当たり12円となります。

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	第116期 (第2四半期) 平成29年 9月30日現在	第115期 (第2四半期) 平成29年 3月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産		75,435	70,297
固定資産		89,971	89,995
有形固定資産		77,507	77,954
無形固定資産		667	810
投資その他の資産		11,796	11,230
資産合計		165,406	160,293
<b>負債の部</b>			
流動負債		54,581	53,085
固定負債		26,270	26,543
負債合計		80,851	79,628
<b>純資産の部</b>			
株主資本		58,376	55,448
資本金		8,070	8,070
資本剰余金		2,075	2,075
利益剰余金		49,429	46,501
自己株式		△1,199	△1,198
その他の包括利益累計額		21,542	21,282
その他有価証券評価差額金		3,149	2,780
土地再評価差額金		17,255	17,255
為替換算調整勘定		1,354	1,628
退職給付に係る調整累計額		△217	△382
非支配株主持分		4,636	3,933
純資産合計		84,554	80,664
負債純資産合計		165,406	160,293

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	第116期 (第2四半期) 自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	第115期 (第2四半期) 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日
売上高		103,465	89,078
売上原価		90,729	78,485
売上総利益		12,735	10,593
販売費及び一般管理費		6,787	6,287
営業利益		5,948	4,306
営業外収益		221	154
営業外費用		208	1,112
経常利益		5,961	3,348
特別利益		1	266
特別損失		80	133
税金等調整前四半期純利益		5,883	3,481
法人税等		1,498	1,143
四半期純利益		4,384	2,338
非支配株主に帰属する四半期純利益		804	312
親会社株主に帰属する四半期純利益		3,579	2,026

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

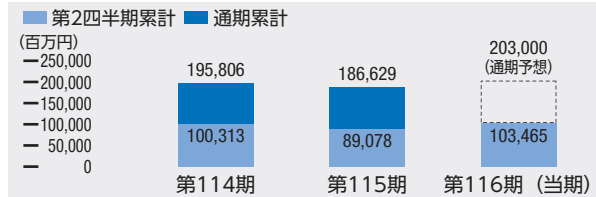
(単位:百万円)

科目	期別	第116期 (第2四半期) 自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	第115期 (第2四半期) 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		7,279	9,114
投資活動によるキャッシュ・フロー		△4,082	△4,281
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,788	△3,724
現金及び現金同等物に係る換算差額		9	△413
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		1,418	694
現金及び現金同等物の期首残高		20,198	18,422
現金及び現金同等物の四半期末残高		21,616	19,116

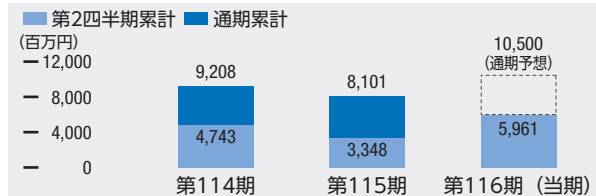
※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結業績

売上高



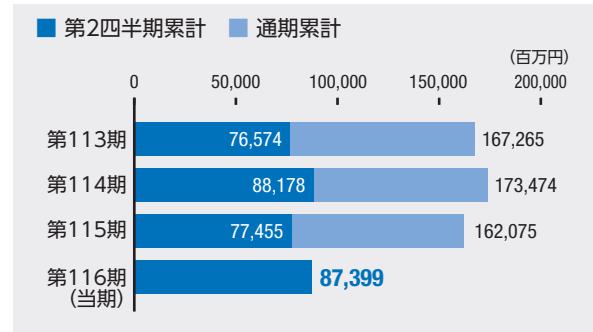
経常利益



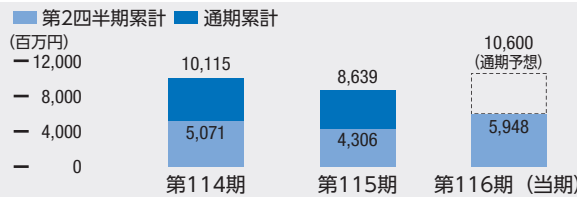
※当社は平成29年11月8日に業績予想数値の修正を実施しております。  
※業績予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性がありますのでご承知おきください。

セグメント業績

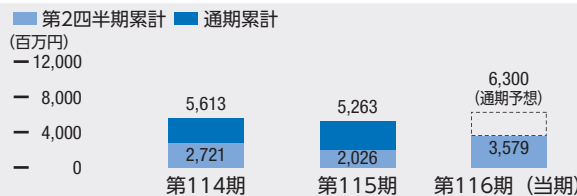
自動車関連事業



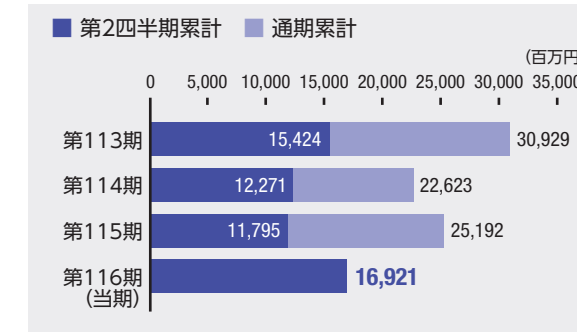
営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



建設機械関連事業



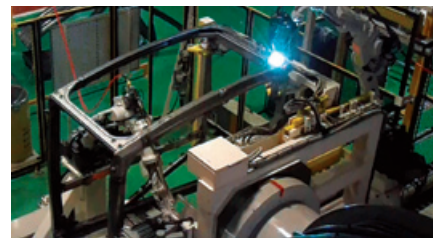


## 国内工場の新設製造ライン・新規導入設備等のご紹介

当社の国内工場では、新規部品の受注等に伴い、品質の向上、生産効率の向上を目指し、製造ラインの新設や新規設備の設置をおこないました。

### 【尾道工場：建設機械ラインの新設】

尾道工場では建設機械用キャビンのフルモデルチェンジに伴い、平成29年6月に組立ラインを新設いたしました。新ラインには、スパッタレス溶接システムやライン稼働モニターといった従来なかった設備等を導入し、品質向上や自動化の推進につなげております。



### 【藤沢工場：フレーム組立ラインの新設】

藤沢工場では、新構造フレームの受注に伴い、平成29年11月に組立ラインを新設いたしました。

このラインでは、生産量が少ない製品でもサイドメンバー（フレームの構成部品）への製品情報の刻印から穴あけ、フレーム組立工程まで効率よく一貫生産することができ、ロボットによる自動溶接や自動検査を導入するなど省力化ラインとなっており、自動検査では、レーザーセンサーやカメラを使って穴やナットの有無、フレームの仕様を確認しています。



### 【藤沢工場：部品電着塗装ラインの新設】

藤沢工場に部品電着塗装ラインを新設し、平成29年5月より稼働を開始いたしました。本塗装ラインの設置により、トレーサビリティ（製造履歴の追跡）の強化、電着塗装での表面処理能力の向上、内製化によるリードタイムの短縮を実現しました。



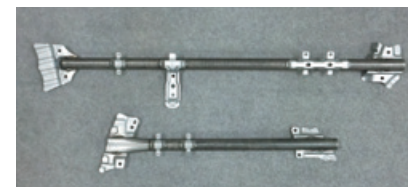
### 【宇都宮工場：ブラスト装置の新設】

宇都宮工場ではフレーム塗装品質の向上を目指し、平成28年にブラスト装置を設置いたしました。ブラスト装置とはエア圧力で研磨材を投射し、フレーム表面に付着している黒皮（鋼材の表面を覆っている酸化皮膜）を剥離する装置です。黒皮剥離により塗装の密着・耐食性を高めています。



## 米国子会社でのドア補強部品の受注状況について

米国における子会社PK U.S.A., Inc. では、新規受注した日系メーカー向けのドア補強部品の生産を平成29年7月から開始いたしました。ドア補強部品は平成30年から平成31年にかけて立ち上がる主要日系メーカーの次期モデルへの採用が次々と決定しており、主力製品のひとつとなっています。引き続き、拡販活動を推進してまいります。



本社インディアナ工場

	<b>PK U.S.A., INC.</b>
所在地：インディアナ州 (本社、インディアナ工場) ・テネシー州(テネシー工場) ・ミシシッピ州(ミシシッピ工場)	
資本金：49,100\$	
設立年：1988年7月	
出資比率：当社100%	
事業内容：自動車部品の製造	
主要取引先：日産・DANA・トヨタ・スバル・日野 他	

## インドネシア子会社でのSUV用溶接フレーム組立開始について

インドネシアにおける子会社PT. PK Manufacturing Indonesia (以下、PKMI) では、メーカーの現地化に協力し、SUV用フレームの組立を開始いたしました。PKMIでのSUV用溶接フレームの生産は今回が初めてとなります。

商用車メーカーに向けても現調化ニーズを取り込む等拡販活動を推進しており、新規受注が決定しています。



	<b>PT. PK Manufacturing Indonesia</b>
所在地：インドネシア共和国西ジャワ州カラワン県	
資本金：30,000千US\$	
出資比率：当社65%、伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社35%	
設立年：2011年8月	
事業内容：自動車部品の製造	
主要取引先：いすゞ・三菱	

## スウェーデン子会社でのレーザー加工機更新について

スウェーデンにおける子会社PRESS KOGYO SWEDEN ABでは、平成29年6月にレーザー加工設備を更新いたしました。鋼板や製品の搬送などの付帯作業を自動化することでコスト低減を図っています。また、生産能力が向上したことにより、従来外部に発注していた製品の一部を社内に取り込むことができました。



	<b>PRESS KOGYO SWEDEN AB</b>
所在地：スウェーデン王国オスカーハム市	
資本金：45,000千SEK	
出資年：1992年5月	
出資比率：当社100%	
事業内容：自動車部品・農業機械用部品の製造	
主要取引先：Volvo、Scania、Ålfa、BT、Xylem他	



## キャタピラー社よりSQEPゴールド認証を取得いたしました

平成29年6月にキャタピラー社よりコスト・納期・品質の面で高い評価をいただき、“2016年SQEP (Supplier Quality Excellence Process) ゴールド認証”を取得しました。平成26年から連続4回目の取得となります。日本国内においてプラチナ認証を取得している企業は2社、ゴールド認証は当社を含め2社のみと認証ハードルの高い制度となっています。引き続き、ものづくり力の向上に励んでまいります。



## QCサークル活動について

当社のQCサークル活動は、活動の目的を企業業績への貢献と人材育成の2本柱とした小集団活動として実践しています。業務直結・企業業績向上への貢献に活動の軸足を移し、活力ある職場づくりにつなげようとしており、品質向上だけでなく、生産性向上、原価低減など安全面も含め、小集団活動を通じて職場の改善を図っております。

従来、現業・技術部門が活動の中心でしたが、現在では活動の対象を管理部門にも広げ、全社をあげてQCサークル活動を推進しています。このような取り組みの効果もあり、当社情報システム部GAL'Sサークルが平成29年12月に「QCサークル石川馨奨励賞」を受賞することが決定しております。お客様の様々なニーズにお応えできるよう、引き続き、小集団活動を通じてものづくりの力を高めてまいります。



## 陸上部による社会貢献活動について

当社陸上部は、市民ランナーや子どもたちを対象にランニング教室を開催しています。正しいランニングフォームで練習した後、タイムトライアルで効果の確認もしています。多くの方が記録を更新され、毎回好評をいただいております。また、ゲストランナー・ペースメーカーとして各種大会にも参加しています。



健康ファミリーマラソン大会の様子



ランニング教室の様子

## バスケットボール部が関東実業団2部リーグ戦で全勝優勝いたしました

当社バスケットボール部は関東実業団2部リーグ戦(5月28日～7月30日開催)において全勝で創部以来初の優勝を飾りました。今後もチーム一丸となって好成績を残せるよう挑戦してまいりますので、皆様の温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。



## ニューイヤー駅伝に出場いたします

11月3日に埼玉県にて行われた第58回東日本実業団対抗駅伝競走大会に当社陸上部が出場いたしました。結果は11位となり、平成30年元旦のニューイヤー駅伝の出場権を獲得いたしました。9年連続9回目の出場となり、さらなる飛躍に向け選手・スタッフ一丸となって挑戦してまいりますので、皆様の温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。

## 平成30年1月1日(月)9時15分スタート







会社概要

(平成29年9月30日現在)

商号 プレス工業株式会社  
PRESS KOGYO CO.,LTD.  
本店所在地 〒210-8512  
神奈川県川崎市川崎区塩浜1丁目1番1号  
TEL 044-266-2581 (代表)  
事業所所在地 川崎工場(神奈川県川崎市)  
横浜事務所(神奈川県横浜市)  
宇都宮工場(栃木県下野市)  
埼玉工場(埼玉県川越市)  
藤沢工場(神奈川県藤沢市)  
尾道工場(広島県尾道市)  
創立 大正14年2月16日  
資本金 8,070,221,336円  
従業員数 1,908名(連結従業員数 6,922名)

主要な子会社

(平成29年9月30日現在)

株式会社協和製作所  
尾道プレス工業株式会社  
鉸金工業株式会社  
PK U.S.A., INC.  
PRESS KOGYO SWEDEN AB  
THAI SUMMIT PKK CO.,LTD.  
THAI SUMMIT PKK BANGPAKONG CO.,LTD.  
THAI SUMMIT PK CORPORATION LTD.  
蘇州普美駕駛室有限公司  
普莱斯冲庄部件(蘇州)有限公司  
普莱斯工業小型駕駛室(蘇州)有限公司  
PT. PK Manufacturing Indonesia  
(他14社)

役員

(平成29年9月30日現在)

代表取締役社長兼社長執行役員(CEO)	角堂 博茂	社外取締役(監査等委員)	山根八洲男	上席執行役員	中山 雅一
代表取締役専務取締役兼専務執行役員(CFO)	齊藤 正人	社外取締役(監査等委員)	中川 治	執行役員	唐木 剛一
取締役専務執行役員	池田 裕彦	社外取締役(監査等委員)	古里 健治	執行役員	清水 勇生
取締役専務執行役員	美野 哲司	常務執行役員	中山 隆史	執行役員	佐藤 昌彦
取締役専務執行役員(CTO)	村山 哲	常務執行役員	馬林 栄司	執行役員	新川 春正
取締役兼常務執行役員	尾浪 和彦	上席執行役員	矢原 洋	執行役員	大竹 正美
取締役兼常務執行役員	遠藤 徳明	上席執行役員	内田 正巳	フェロー	ピーター・カドストム
取締役(常勤監査等委員)	星野 克行	上席執行役員	二村 幸一		
取締役(監査等委員)	原田 忠禮	上席執行役員	増田 昇		

株式の状況

(平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数 240,000,000 株  
発行済株式の総数 114,007,210 株  
株主数 6,333 名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
いすゞ自動車株式会社	10,151	8.90
JPMORGANCHASEBANK385632	7,610	6.68
NORTHERNTRUSTCO.(AVFC)RENV101	5,570	4.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,345	4.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,206	4.57
DFAINTLSMALLCAPVALUEPORTFOLIO	2,701	2.37
GOVERNMENTOFNORWAY	2,617	2.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,474	2.17
NORTHERNTRUSTCO.(AVFC)REIEDUCGTSCLIENTSNONLENDING15PCTTREATYACCOUNT	2,352	2.06
プレス工業従業員持株会	2,266	1.99

※上記のほか、当社が保有している自己株式が、5,383千株あります。

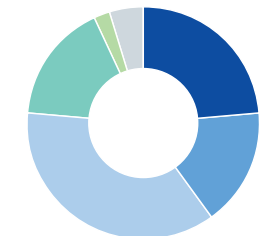
コーポレートガバナンスに関する情報



当社ホームページの投資家情報にて、コーポレートガバナンスに関する資料(コーポレートガバナンス報告書、コーポレートガバナンスガイドライン)を掲載しております。是非ご覧ください。

<http://www.presskogyo.co.jp>

所有者別分布状況



金融機関	23.86%
個人・その他	16.15%
外国人	36.59%
事業会社・その他法人	16.48%
金融商品取引業者	2.20%
自己名義株式	4.72%